



赤ちゃん授業通信



徳島文理大学保健福祉学部看護学科 2024年11月20日

命の授業



生まれてきてくれて
ありがとう



徳島文理大学保健福祉学部看護学科3年生29名と8組の保護者と赤ちゃんが参加し、赤ちゃん授業を開催しました！
徳島文理大学保健福祉学部看護学科佐原玉恵先生より赤ちゃんの成長と発達やプレコンセプションケアなどの講義後体験コーナーでは、妊婦の身体の変化や重さを体感したり赤ちゃん人形を使って抱っこ練習をしました。
実際に赤ちゃんに触れ合う交流では、命のぬくもりを肌で感じることができました。

学生からの質問

- ・子育て中のパパママのリフレッシュ方法は何ですか
- ・現在の世の中の母子保健制度は十分だと思いますか
- ・家族内で育児について話し合ったことはありますか
- ・育休は何年取っていますか。お父さんは育休を取られていますか
- ・子どもの成長で感動したことは何ですか
- ・こんな医療従事者がいればいいなという理想やイメージはありますか



体験コーナー

妊婦ジャケットをつけたり、赤ちゃん人形を抱っこしたり胎児模型や避妊具体験をしました！



妊婦ジャケット！



避妊具体験！

ふれあい交流

グループに分かれて、生後4か月～11か月の赤ちゃんに触れ合ったり、抱っこをさせてもらいました。また、妊娠中の貴重なエコー写真を見せてもらったり、生まれた時や子育てのお話をお母さんやお父さんから直接聞くことができました。



離乳食はどうぞ！

みんなで記念撮影📷

エコー写真を見せてもらいました



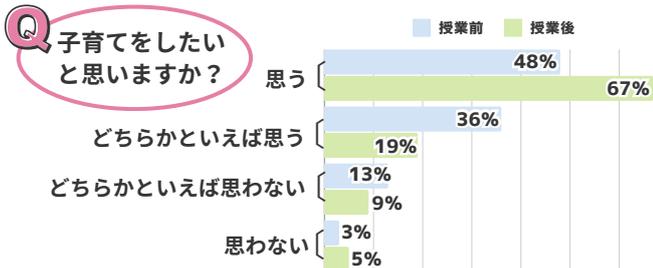
学生からの感想

- ・「赤ちゃんといて一番感動したのはどんなことですか？」と質問すると「出産した時と日々の成長で毎日が感動の連続だ。」と仰っていた。育児は自由な時間がなく、毎日大変だという印象が強かったけど、今回お母さんのお話を聞いて、それ以上に子どもの成長が楽しみであり、喜ぶのだと学んだ。今回の体験を楽しかったで終わらず、今後の学びに繋げていきたいと思った。
- ・赤ちゃんは、暖かくて重みがあり、私が思っていた何倍もたくましいと思った。とても可愛かったし、家族にとっても大切にされているんだと感じた。
- ・お母さんが看護師さんや助産師さんにいっぱい褒めてもらえたことが嬉しかったと仰っていたのを聞いて、私も母子ともに笑顔にできるような看護師になりたいと思った。
- ・実際に交流して、出産・子育ての大変さや、楽しさを知ることができた。また、男性の育休が制度化されていても、取りにくい現状も知った。子育ては周りの人の助け合いが大切になってくることを改めて学んだので、専門職として手助けできるよう、これから勉強や経験を積んでいきたいと思った。
- ・妊婦体験では実際お腹が重いまま寝たり起きたりするのはとても大変だと分かり、腹筋と足の振りを使って起き上がると楽という妊婦体操も体験することができて良かった。
- ・「子どもは最初苦手だったけど、子どもを産んでみて、自分の子どもは格別である。」というお母さんの言葉が印象的だった。
- ・健診で保健師さんと関わって、専門家として助言いただけるので助かるということを知り、そういう保健師になりたいと思った。
- ・最後にお父さんが言っていたとおり、男性も育児に協力して助け合いながら赤ちゃんを育てていくことが大切だと学んだ。

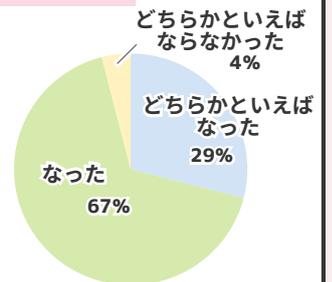


Q&A

学生アンケート (授業前と授業後にアンケートを実施しました)



Q 赤ちゃん授業後、自分の結婚や子育てについて具体的に考えるきっかけになりましたか？



パパママからの感想



- ・助産師を目指す方が多かったので、子どもの成長だけでなく、妊婦期についてもたくさん質問をしてもらったのが印象的だった。
- ・子どもと接することによって少しでも子育てや結婚に前向きになればいいなと思った。
- ・家族以外とのふれあいは赤ちゃんにとって良い刺激になると思う。私も赤ちゃんとの二人きりのことが多いので学生達とお話できてリフレッシュできた。
- ・看護学生が、嬉しかった言葉掛けやしんどかったことを聞いてくれて、将来に活かそうとしてくれていたのが嬉しかった。
- ・大切に抱っこしてくれる姿、可愛いと笑顔で接してくれる姿に嬉しくなった。
- ・泣いても可愛いと言ってくれる学生達にこちらからもありがとうと伝えたい。
- ・子どもを連れて出かけると、大きな声を出す・暴れる等、肩身が狭くなるのが多く、周囲に申し訳なくなるが、今回のような子どもが主役になれる場所を提供していただけると、少し気が楽になった。



運営スタッフより

- ・若いお母さんが学生に一生懸命話をしてくれ、学生もそれを真剣に聴いている姿が素敵だった。
- ・今の時代 赤ちゃんに触れ合う機会が少ないと思うので、こういう経験は学生にとって非常に有意義と思った。仕事の時も自分が初めて親になる時にも、学生達は今日のお父さんやお母さんの話を思い出すのだろうなと思うと感慨深かった。